

## 血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

研究課題名	多発性骨髄腫における凝固異常の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	血液内科
研究責任者	(職名) 講師 (氏名) 水野昌平
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	金沢大学 医薬保健研究域保健学系 病態検査学 森下英理子
研究の意義・目的	多発性骨髄腫は、出血傾向も時に血液の塊が血管内にできる(血栓症)も合併する疾患であります。そのため、多発性骨髄腫が関連した出血や血栓症の発症頻度や治療などの関連性を検討することは、予防治療を考えていくうえで極めて有用な情報を提供すると考えられます。
対象となる患者さん	2007年1月～2018年12月までに、多発性骨髄腫に対して初回治療、ならびに再発後に治療が実施された患者さん
研究の方法	多発性骨髄腫と診断された患者さん毎の初回受診時ならびに再発時の検査所見、身体所見、以前にもっていた病気、合併症等の情報を収集します。また、多発性骨髄腫に対しての治療方法も併せて記録します。これらを基に血栓症や出血合併症などの合併症が、どの血液検査項目などに関連するかどうか検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報: 年齢、性別、多発性骨髄腫に対しての治療歴、血栓症や出血合併症などの情報
外部への試料・情報の提供	金沢大学 医薬保健研究域保健学系 病態検査学
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 血液内科

	担当者：(職名) 講師 (氏名) 水野昌平 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23540)
--	--